資料②

これまでの取組の総括と今後の施策の方向性について

１．現行「三重県人口減少対策方針」の総括 ・・・１
２．都道府県比較からみた三重県の特徴 ・・・２
３．自然減に関する課題 ・・・３
（１）有配偶出生率を押し下げる要因 ・・・４
（２）30代・既婚者の子どもに関する意識 ・・・５
４．社会減に関連する課題 ・・・６
（１）転入率・転出率の都道府県比較にみる三重県の特徴 ・・・７
（２）0～14歳の転入・転出要因 ・・・９
（３）25～39歳の転入・転出要因 ・・・11
５．今後の施策の方向性 ・・・12

１．現行「三重県人口減少対策方針」の総括
～これまでの取組成果と課題～

【これまでの取組】

●令和5年8月に「三重県人口減少対策方針」を全国に先駆けて策定
●「自然減対策」「社会減対策」を両輪として「結婚」「妊娠・出産」「子育て」のライフステージに応じた切れ目ない支援、女性の働きやすい職場づくりの支援、移住の促進などに取り組んできた。

成果

・県や市町の施策による**移住者数の増加**
（10年間で**約8倍**）
・男性の**育児休業取得率の増加**
（R4年度：9.4%→R7年度：50%）
・**女性活躍推進に取り組む中小規模団体数の増加**
（R4年度：391団体→R7年度：532団体）　など

一方で・・・

・人口数・率ともに**減少幅が拡大**
（対2020年減少率　4.4%※全国2.5%）
・合計特殊出生率は上昇したものの
出生数、婚姻件数は減少傾向
・**若者の転出超過**が継続
・都道府県版ジェンダーギャップ指数
（経済分野）**47位**

全国と比較して見えてきた三重県の特徴から課題を考える

2．都道府県比較からみた三重県の特徴

【自然動態】⇒ 全国と比較すると**有配偶率は高い**ものの、**有配偶出生率が比較的低い**傾向にある。
【社会動態】⇒ 全国と同様に進学・就職期の転出超過が多い傾向に加え、三重県では**子ども（0~14歳）や25~39歳の世代での転出超過傾向**が見られる。

区分	指標	三重県	各都道府県の平均	都道府県中の三重県の順位
自然動態	総人口に占める15~49歳女性人口の割合	18.7%	18.7%	18位
	有配偶率（15~49歳・女性） ※母数に外国人人口を含む	**51.2%**	**48.9%**	**8位**
	有配偶出生率（15~49歳・女性） ※母数に外国人人口を含む	**67.7 ‰**	**73.6 ‰**	**33位**
	夫婦のいる世帯のうち、子どもがいる世帯の割合	56.0%	56.2%	29位
社会動態	**子ども(0~14歳)の転入超過率**	**-0.17%**	**0.01%**	**43位**
	15~24歳の転入超過率	-1.92%	-1.70%	22位
	25~39歳の転入超過率	**-0.71%**	**-0.36%**	**37位**
（参考）地域の担い手の状況	就業人口に占める外国人の割合	3.1%	1.65%	3位
	外国人の社会増減 ※海外から三重への転入を含む	6.3%	11.19%	45位
	女性労働力率（20~44歳）	80.3%	81.3%	28位
	65歳以上人口の労働力率	27.3%	26.1%	11位

※自然動態は、総務省「国勢調査」（2020年）および厚生労働省「人口動態統計」（2020年）による
※社会動態は、総務省「住民基本台帳移動報告」（2025）による
※地域の担い手状況は、総務省「国勢調査」（2020年）および「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」による

3. 自然減に関する課題

（１）有配偶出生率を押し下げる要因

- 三重県の有配偶出生率を分析すると、年代別では**30代女性が低い。**

年齢別・出生順位別の要因分析

【各年齢区分の有配偶者女性千人当たりの出生率】（‰）

2020年

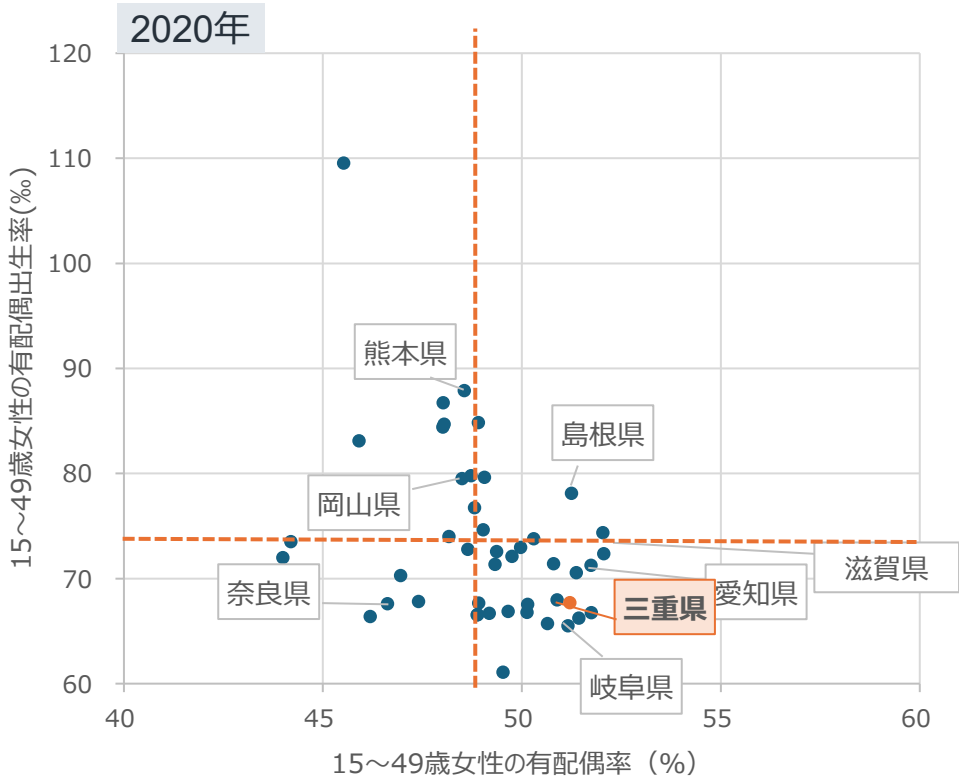
	三重県	全国	差
20~24歳	342.3	341.4	0.9pt
25~29歳	223.3	222.6	0.7pt
30~34歳	**154.3**	**164.7**	**-10.4pt**
35~39歳	**71.9**	**80.2**	**-8.3pt**
40~44歳	13.8	16.6	-2.8pt

2025年

	三重県	全国	差
20~24歳	279.2	284.4	-5.2pt
25~29歳	200.1	190.7	9.4pt
30~34歳	152.7	154.6	-1.9pt
35~39歳	**63.1**	**75.0**	**-11.9pt**
40~44歳	14.4	16.8	-2.4pt

※国勢調査および人口動態統計をもとに算出　（外国人人口、非嫡出子を含む）

15～49歳女性有配偶率と有配偶出生率の傾向比較

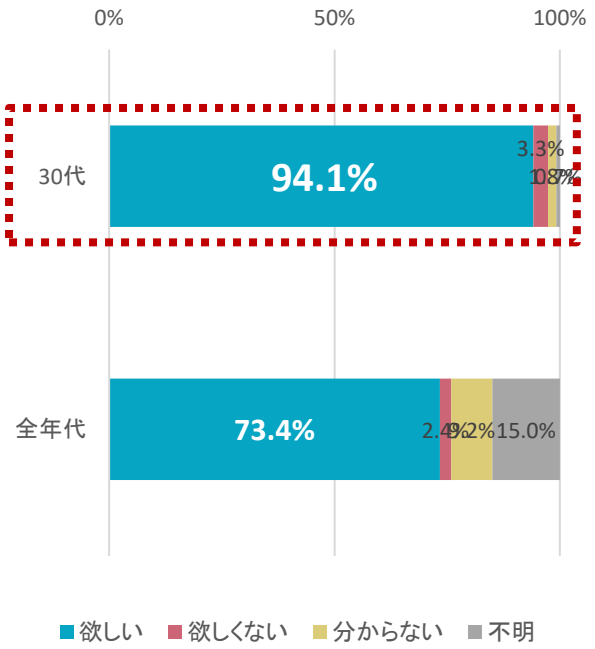


※有配偶率は、総務省「国勢調査」（2020年）をもとに算出（外国人人口を含む）
※有配偶出生率は、総務省「国勢調査」（2020年）および「人口動態統計」（2020年）をもとに算出。分母の有配偶女性人口には外国人を含む。

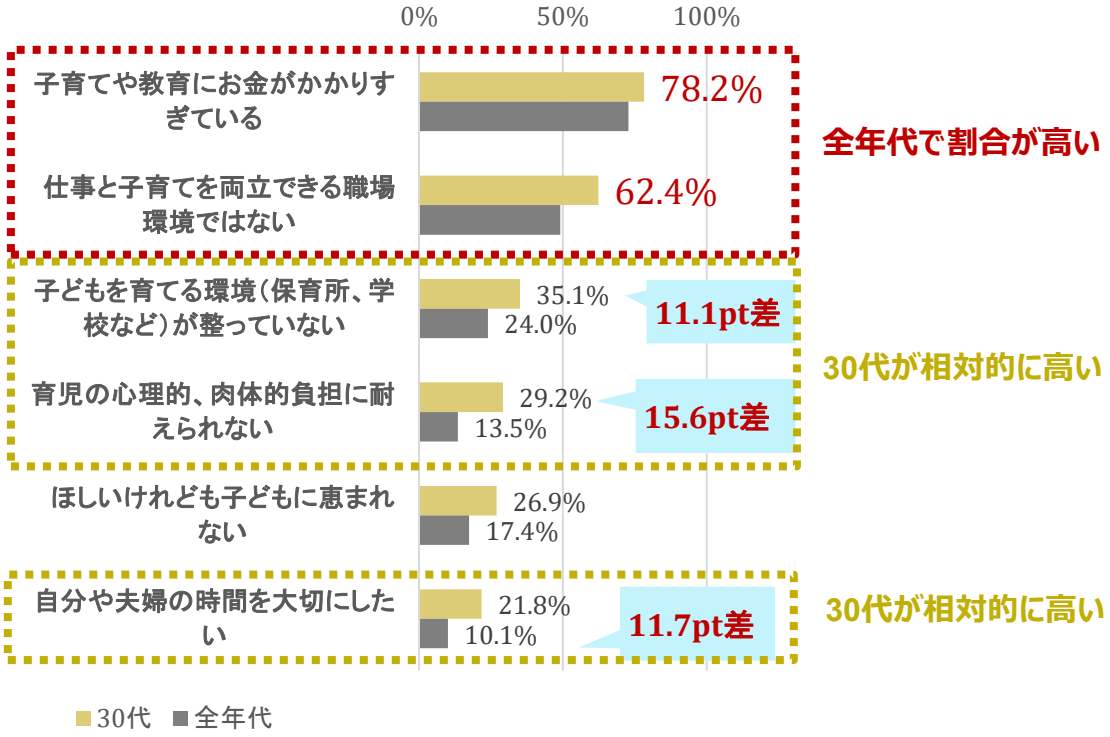
（２）30代･既婚者の子どもに関する意識

- **30代･既婚者**の**94.1%が子どもが「欲しい」**と回答している。
- 子どもを持たない理由として、**子育て･教育に係る費用**や**仕事と両立できる職場環境**に加え、**30代既婚者では、保育所等の子育て環境**、**育児の心理的･肉体的負担**や**夫婦の時間の確保**等を挙げる割合が全世代の割合よりも高い。

30代･既婚者の子どもを持つ意向



30代･既婚者が希望の数の子どもを持たない理由（上位）



※三重県「第4回みえ県民1万人アンケート」（2026年）より作成

４．社会減に関する課題

（１）転入率・転出率の都道府県比較にみる三重県の特徴

- **0~14歳は、転入が少ない**。
- **25~39歳**では**男性の転出率**が全国と比較して**高い**。

年齢区分別・男女別の転入率・転出率

【0~14歳】

		三重県	都道府県平均	差	都道府県順位
転入率	計	**1.02%**	**1.15%**	**-0.13**	**32位**
	男性	**0.97%**	**1.14%**	**-0.17**	**33位**
	女性	**1.07%**	**1.16%**	**-0.09**	**30位**
転出率	計	1.19%	1.14%	0.05	19位
	男性	1.17%	1.13%	0.04	21位
	女性	1.06%	1.03%	0.03	21位

【25~39歳】

		三重県	都道府県平均	差	都道府県順位
転入率	計	4.69%	4.44%	0.25	17位
	男性	**5.41%**	**4.92%**	**0.49**	**16位**
	女性	3.86%	3.93%	-0.04	22位
転出率	計	**5.40%**	**4.81%**	**0.59**	**11位**
	男性	**6.11%**	**5.27%**	**0.84**	**9位**
	女性	4.59%	4.30%	0.29	13位

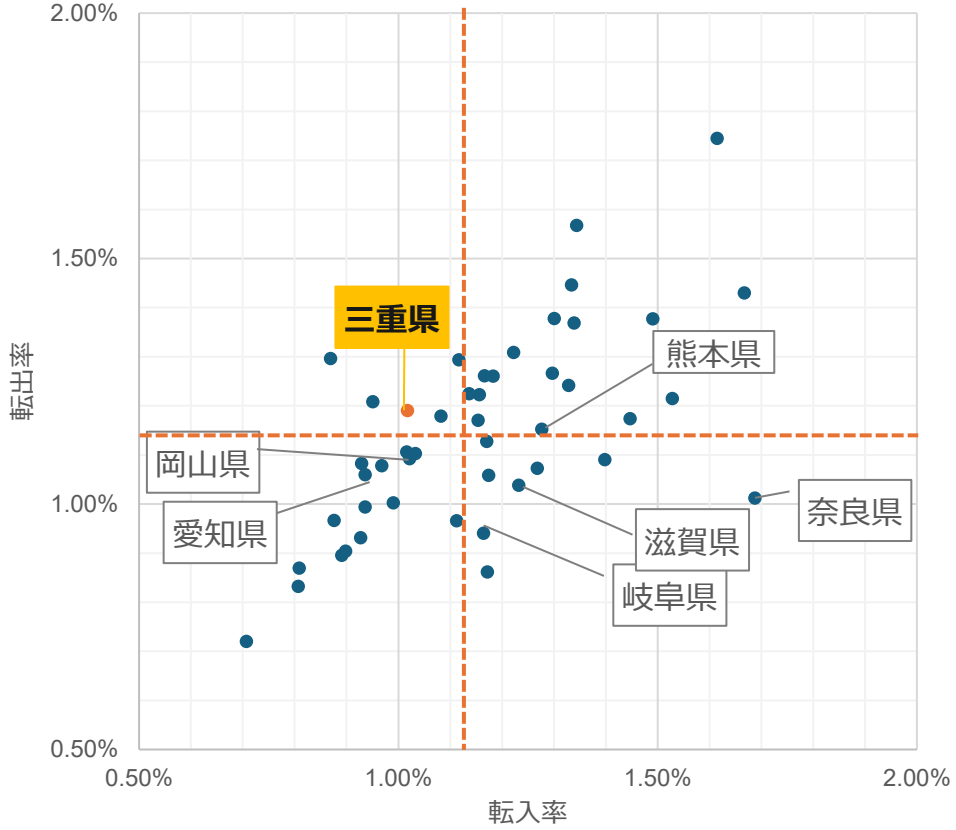
総務省「住民基本台帳移動報告」（2025）をもとに算出

（１）転入率・転出率の都道府県比較にみる三重県の特徴

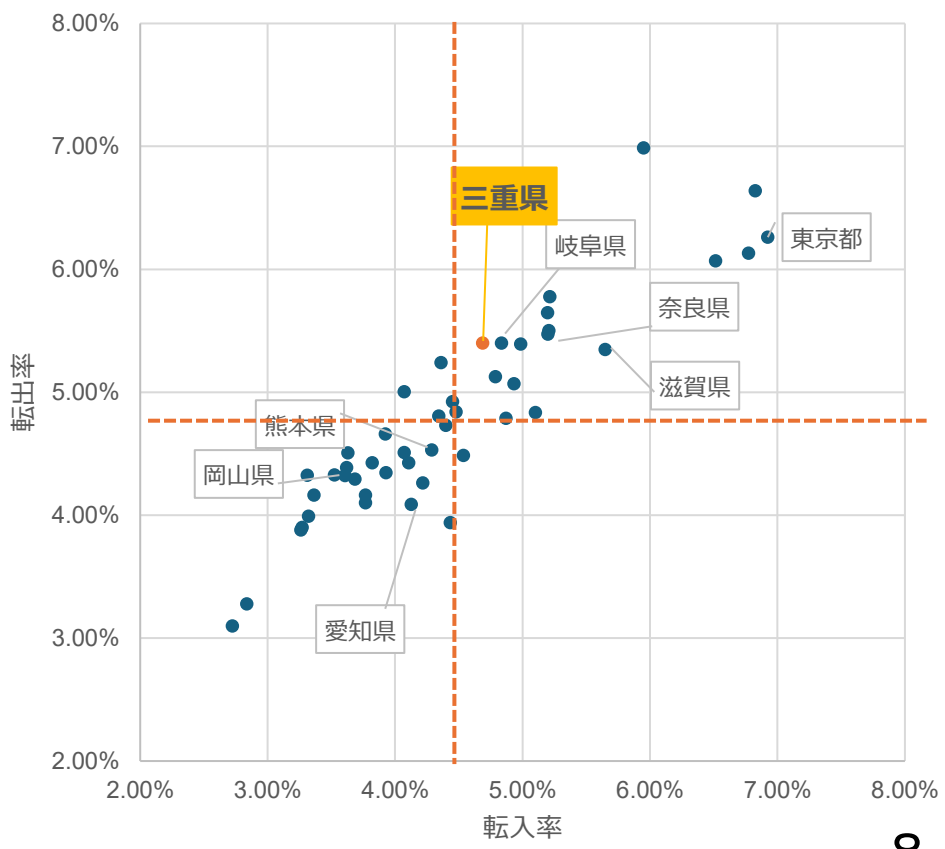
- **0～14歳**については、近隣県等と比較して**転入率が低く、転出率が高い傾向**にある。
- **25～39歳**では、近隣県等と比較して**転出率**が**比較的高い**。

年齢区分別の転入率・転出率

【0~14歳】



【25~39歳】



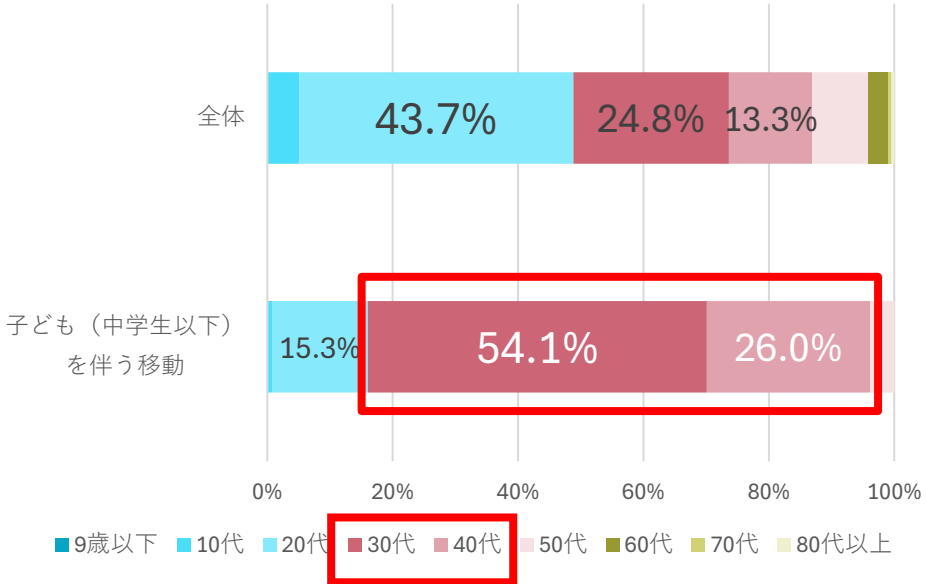
総務省「住民基本台帳移動報告」（2025）をもとに算出

（２）0~14歳の転入・転出要因　①移動のきっかけ

- **子ども（中学生以下）を伴う移動**では、**親世代の都合での移動が多い。**
- 親世代の**転勤や住宅取得等が主なきっかけ**となっている。

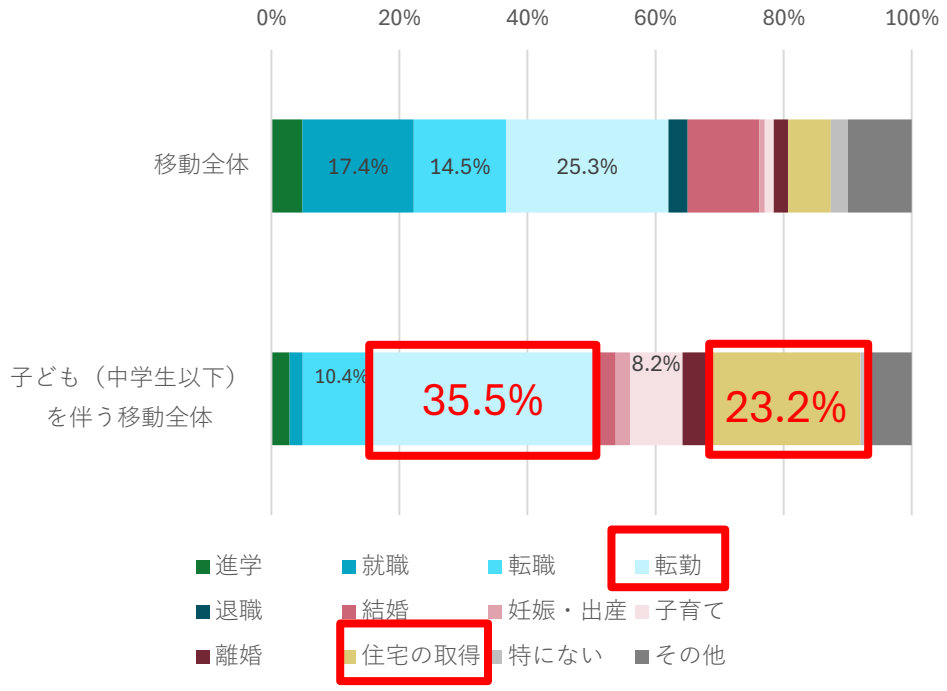
子どもを伴う移動において、きっかけになった人の属性

【0~14歳】



※三重県「転入・転出者の移動理由に関するアンケート」（2023～2024年）より作成

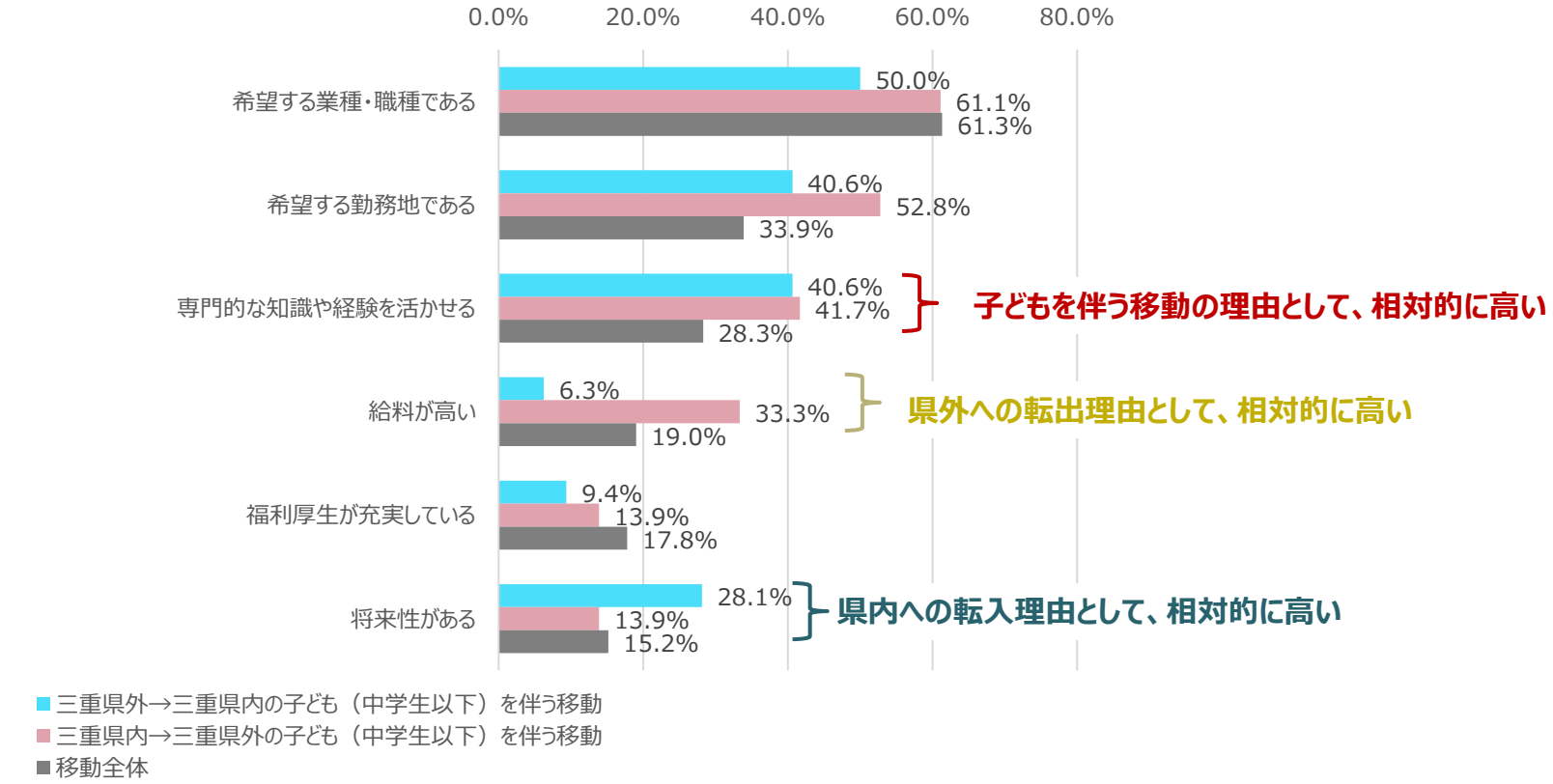
子どもを伴う移動のきっかけ



（２）0~14歳の転入・転出要因　②親の就職・転職先の選択理由

- 就職・転職により子どもを伴って県外から県内へ転入する場合、希望する勤務地や業種・職種であることに加え、**<u>これまでの専門性を生かした転職先を探す傾向</u>**にある。

子ども（中学生以下）を伴う移動における就職・転職先を選んだ理由（上位）

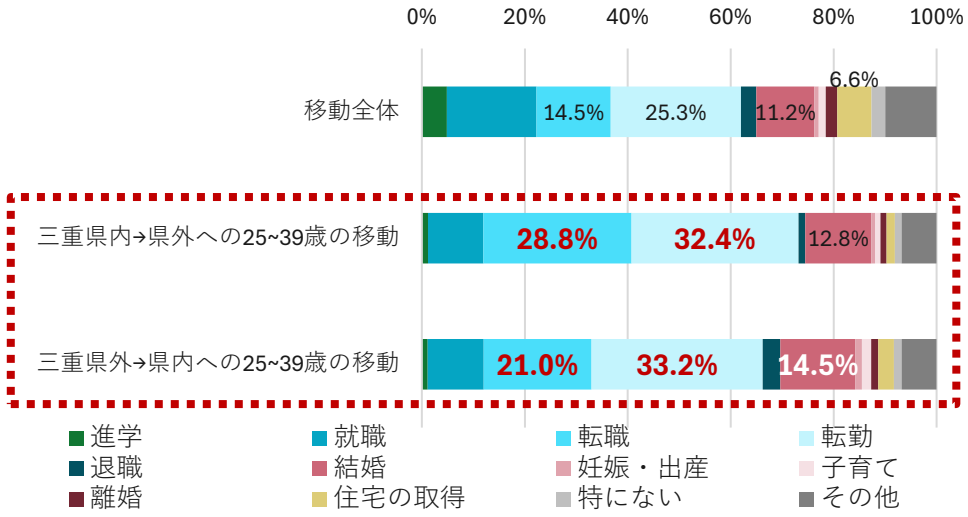


※三重県「転入・転出者の移動理由に関するアンケート」（2023～2024年）より作成

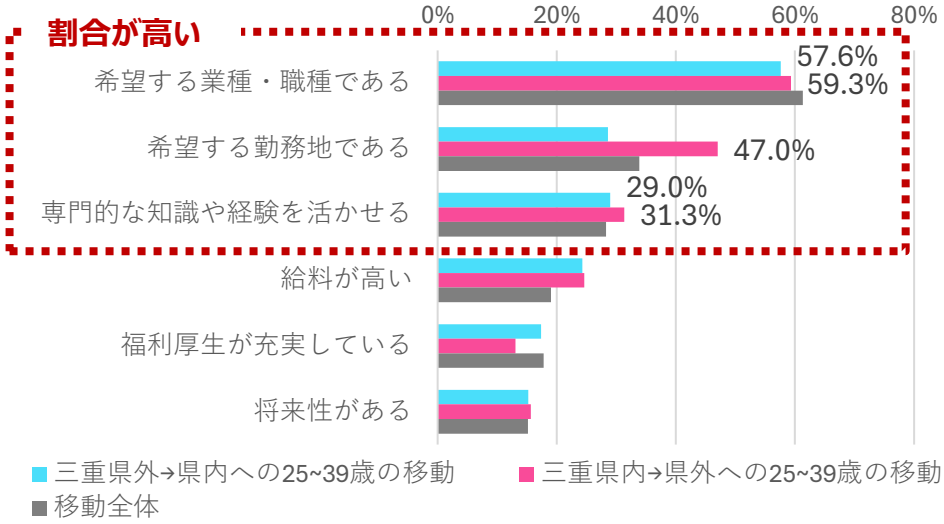
（３）25~39歳の転入・転出要因　就職・転職先の選択理由

- 25～39歳の移動においては、**転入・転出とも転勤や転職、結婚等をきっかけとした移動**が多い。
- 希望の業種・職種であることに加えて、勤務地、**専門的な知識や経験が活かせること**を重視する傾向がある。

25～39歳の移動のきっかけ



就職・転職先を選んだ理由



※三重県「転入・転出者の移動理由に関するアンケート」（2023～2024年）より作成

５．今後の施策の方向性

【自然減対策】

- 子育ての精神的・肉体的・時間的な負担軽減
- 仕事と両立できる職場環境の実現

【社会減対策】

- 子育て・住宅・転職情報等に関する一体的な情報発信
- 専門性を生かせる仕事とのマッチング・転職支援
- 成長力のある分野・企業の育成、誘致